先進的な事例から学ぶ① ～夜間の災害発生に備えた防災訓練の取組み～

ーひよどり地区防災福祉コミュニティ夜間防災訓練ー
（ひよどり地区防災福祉コミュニティ）

1 ひよどり地区防災福祉コミュニティの概要

ひよどり地区防災福祉コミュニティは神戸市兵庫区の北西部に位置し、平成10年の台風第７号、平成11年の梅雨前線による豪雨で浸水被害を受けた経験があります。この災害を教訓に、隣接する防災福祉コミュニティとの連携を大切にして、毎年、ひよどり地区を含む４地区合同での防災訓練を実施しています。

また、ひよどり地区では、バルコニー隔て板破壊体験訓練などの目新しい訓練にも積極的に取組んでいますが、大切な訓練こそ繰り返し実施する方が良いとの考えのもと、要援護者支援訓練や消火器取扱い訓練、AED取扱い訓練などを何度でも実施する、真面目な自主防災組織です。

2 ひよどり地区防災福祉コミュニティの特長～幅広い年齢層の方が防災活動に参加！～

ひよどり地区防災福祉コミュニティでは、地域内の学校のPTAと生徒たちを活動に呼び込むことに力を入れています。常日頃から地域の学校行事に参加し、お互いに顔が見える関係の構築に努め、その甲斐もあって、PTAの方には、子どもが学校を卒業してからも、継続して防災活動に参加してもらえています。

また、毎回の防災訓練には、地域の中学生にも参加してもらい、要援護者支援訓練などでは、大人を乗せたリヤカーを避難所までの上り坂でも引っ張ってもらうなど、多くの自主防災組織が抱える人材不足の問題解決にも積極的に取り組み、幅広い年齢層での防災活動を実践しています。

3 夜間防災訓練の取組み

平成10年の結成以降、毎年、様々な防災訓練を実施してきたひよどり地区防災福祉コミュニティでも、これまで夜間の防災訓練は実施したことはありませんでした。

このため、夜間の災害発生に備え、平成30年度は、新たな取組みとして夜間防災訓練を実施しました。

訓練当日は生憎の雨模様で、合羽を着用しての訓練実施となりましたが、夜間に加え雨天も体験する、貴重な訓練となりました。

4 訓練の概要

(1) 日　時

平成30年9月29日㈯　16時30分～19時30分

(2) 参加者

夢野中学校防災ジュニアチーム、地域の小・中学校ＰＴＡ、兵庫県防災士会、兵庫消防団第2分団、神戸市消防局兵庫消防署　他

(3) 訓練内容

時　間	内容等
16時30分	○各ブロック毎に集合し、夢野中学校（避難所）まで、担架・車椅子・リヤカーなどで避難行動を開始
17時30分	○訓練開会式
17時45分	○訓練開始 ・仮設トイレ組立　・初期消火訓練 ・AEDによる心肺蘇生　・三角巾を使った怪我の手当て ・防災クイズ　・防災グッズづくり　等
19時20分	○炊き出し訓練の豚汁など非常食配布訓練

5 訓練の成果や今後の展望

(1) 昼間と夜間の違いを体験

昼間と夜間では、同じ訓練内容でも準備する資機材などが違います。今回の夜間防災訓練では、普段実施していた昼間の活動との比較ができ、夜間に必要な防災資機材の確認もできました。

(2) 訓練のモットーは「楽しみながらやる」

ひよどり防災福祉コミュニティでは、まず、自分や家族の安全を確認し、余裕があれば活動にうつすというスタンスを大切にしており、これからも気負わず「楽しみながら活動していきたい」と考えています。

ちょっとアドバイス

夜間訓練を実施してみよう！

災害は、昼間だけではなく夜間にも発生します。夜間は、手元・足元が見えにくい中での災害対応となり、昼間とは勝手が異なります。

また、昼間と夜間では地域にいる人も違います。昼間の訓練には参加できない人が参加できるなど、新たな「気付き」もあるので、夜間訓練を実施してみましょう。